令和6年度 第1回早島町地域公共交通会議・デマンド交通推進共創会議 会議録

会議の名称	令和6年度 第1回早島町地域公共交通会議・デマンド交通推進共創会議	
開催日時	令和6年8月27日(火) 13:30~15:00	
開催場所	役場庁舎2階 第1会議室	
出席者	委員	<p>【早島町地域公共交通会議】</p> <p>早島町老人クラブ連合会 今井 寿夫 若宮自治会 岡本 善弘 有限会社澤田交通 笠井 暢人 早島町婦人会 河田 智子 早島小学校PTA 寺山 雅人 西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部岡山支社地域交通 高田 将太 有限会社早島タクシー 萩原 一正 町長 佐藤 博文 副町長 古井 武徳 教育長 白神 敬祐</p> <p>【デマンド交通推進共創会議】</p> <p>独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター 沖野 昭広 有限会社澤田交通 笠井 暢人 岡山県総合展示場コンベックス岡山 岡田 光博 岡山県総合流通センター運営協議会 小林 雄三 早島町観光協会/つくぼ商工会 佐藤 勝司 玉島信用金庫早島支店 石川 幸男 株式会社中国銀行早島支店 寺澤 慶二 社会福祉法人早島町社会福祉協議会 野中 亨介 有限会社早島タクシー 萩原 一正 晴れの国岡山農業協同組合早島町支店 藤井 達矢 Community Mobility株式会社 坂本 亮 早島町町長/デマンド交通推進共創プラットフォーム 佐藤 博文</p>

	<p>専門員</p>	<p>【早島町地域公共交通会議】</p> <p>中国運輸局岡山運輸支局 吉田 奈美</p> <p>倉敷警察署交通第一課規制係 岩崎 史旨</p> <p>岡山県県民生活部県民生活交通課 原 弘好</p> <p>岡山県備中県民局建設部管理課 春山 聖也</p>
	<p>事務局</p>	<p>企画課 大崎課長、松下係長、竹並主任</p>
<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長あいさつ 3 自己紹介 4 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 早島町コミュニティバスについて (2) 東コース車両のリース延長について 5 議案 <ul style="list-style-type: none"> (1) AI デマンド交通の実証運行について (2) 共創の取り組みについて 6 その他 <ul style="list-style-type: none"> 意見交換 7 閉会 	
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員、専門員名簿 ・配席図 ・【資料1】令和6年度第1回早島町地域公共交通会議資料 ・【資料2】停留所案 ・早島町コミュニティバス運行路線図 	
<p>会議録作成者</p>	<p>企画課 松下 令和6年8月30日作成</p>	

会議内容〈要点〉

1 開会

2 町長あいさつ

先月の報道でもありましたが、人口戦略会議におきまして、早島町は岡山県で唯一、自立持続可能性自治体となりました。これは2050年までに20代、30代の若年女性人口の減少率が20%未満となっていることから選ばれました。また、先日、大手ハウスメーカーによる街の住み心地ランキングの2024岡山県版でも、4年連続で住み心地がNo.1ということで選ばれました。これらは、これまでの先人の政策によるもので、取り組みや政策を継続するとともに、さらに若い世代に魅力のあるまちづくりを行い、選ばれる町にしていきたいと考えております。本日の会議ではAI デマンド交通が議題となっておりまして、私自身も町長になる前から注目をしていたものとなります。このたび、Community Mobility 株式会社様のご協力により、本町においても実証運行ができるようになりました。この場を借りて御礼を申し上げます。少子高齢化が進む中、公共交通が持つ役割は大変大きなものとなってきています。本町におきましては、その拠点となる早島駅のバリアフリー化を含めた拠点整備に取り掛かっています。現地をご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、すでに駅舎の整備に着手しておりまして、持続可能な公共交通を目指しているところであります。本日は皆様の忌憚のないご意見を頂戴したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

〈事務局〉

ありがとうございました。今回は共同開催での会議となりますので、最初に皆様の自己紹介をお願いいたします。

～自己紹介～

3 報告事項

〈事務局〉

それでは、議事に移らせて頂きます。まず、会議の成立についてご報告いたします。本日、「地域公共交通会議」にご出席いただきました委員は、全員出席となっております。過半数の委員の方にご出席いただいておりますので、早島町地域公共通会議設置要綱第5条第3項の規定により、本会議が成立することをご報告させていただきます。それでは、会長に議事運営をお願いいたします。

〈会長〉

それでは、次第の4番目になります報告事項について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

失礼いたします。それでは、報告事項についてご説明いたします。お手元の資料1をご覧ください。

～事務局より説明～

〈会長〉

ありがとうございました。それでは、今の事務局の報告につきまして、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

～質問等なし～

4 議題

〈会長〉

続きまして、次第5になります議題（1）AI デマンド交通の実証運行について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

それではAI デマンド交通の実証運行についてご説明いたします。資料1をご覧ください。

～事務局より説明～

〈会長〉

ありがとうございました。

今回は議題の範囲が広いため、項目ごとにご意見をいただくこととします。最初に、22枚目のスライドにあります①運行日時等についてご意見等ありましたらお願いいたします。

〈専門員〉

まず、AI デマンドの実施に当たりまして、運行自体はタクシーと似たような運行ということで

タクシー事業者さんの協力があって初めてできることだと思います。運行予定の2社には非常に感謝をしております。今回元々町営バスが路線で走っている中で、バスが利用しにくい方がターゲットという形で運行すると聞きしました。運行時間について午前7時からということで結構早い時間から予定されています。通常7時であれば通勤通学の時間かと思いますが、こういった方がこの運行時間にご利用になる想定でいるかの確認と、予約については基本的に電話では9時から5時、アプリは運行時間と同じというご説明でしたが、他の自治体さんでは数時間前に予約が必要などの基準を設けられていると思いますが、こちらは基本的には何時まで予約というのではなく、ご希望をお伝えいただいたら迎えに来るといったものでよかったですでしょうか。

〈事務局〉

一点目のご質問につきましては、午前7時の運行となっているのは、JRさんの電車の本数がその時間は多くありますが、コミュニティバスは1時間に1本となっていて対応できないというのがあります。その時間から運行すれば、通勤利用の方の選択肢が増えると考えています。次に、予約につきましては、他の市町村さんであれば事前予約で7時に予約して8時に乗りますといった事前予約が前提になっていると思いますが、このシステムではタクシーのように随時リアルタイムでの予約となっていて、少し待ってもらえば迎えに来るというものになっています。

〈専門員〉

今のコミュニティバスでは1便ずつしかないので、その時間に合わない方が選択肢として増えるということですね。予約については、ジャンボタクシー1台ということで事業者さんはこのために専用車両を1台確保するわけではなく、併用をかけられるということによろしいでしょうか。

〈事務局〉

はい。併用で考えています。

〈委員〉

将来的にコミュニティバスに代わるものとして予定されているのでしょうか。もし、コミュニティバスと両方やられるということになれば、財政的に負担になるかと思いますが。AI デマンド交通が上手くいけば、今のコミュニティバスは年間3千万の経費となっているので、そのお金を振り替えて、例えば料金を安くして乗りやすくすればそちらの方がいいと思います。そういったことは考えられていますでしょうか。

〈事務局〉

今のコミュニティバスが抱えている課題はいろいろあります。利用者からの課題もありますし、運行を支えていただいている事業者さん、それから町側の課題もあり、いろいろな課題があります。町としましては将来的にはコミュニティバスに代わるものと考えています。ただ、この実証運行につきましても、バスの運行も同時に行うものとなりまして、バスの運行をしながら実証実験としてAI デマンド交通もやっていきたいと考えているところです。料金につきましてもおっしゃる通り、そのバスの費用を、ということは考えられるとは思いますが、こちらにつきましても、改めて考えていくこととします。

〈委員〉

利用は町民の方限定でよろしいでしょうか。

〈事務局〉

利用者の方については、制限はなく、どなたでも使っていただけるものとして運行します。

〈委員〉

140か所の停留所を設定されているということですが、到着時間があらかじめどの段階でわかるかということが気になりますが、そのあたりいかがでしょうか。

〈事務局〉

アプリで予約をした際に何時何分に迎えに行きます、目的地には何時何分に着きますといった画面が表示されるようになっていきますので、その画面を見るとわかるようになっていきます。

〈委員〉

補足ですが、あくまでも推測された到着時間になりますので、当日の交通状況ですとか他のお客様の状況によって遅れる場合があります。そういう意味では定時性は厳密には担保されていないものとなり、そこがデメリットとなります。

〈委員〉

予約について、当日はもちろんできると思うのですが、何日か前から予約が可能なのかという点と電話の予約については、電話をしたらどこにつながるようになるのでしょうか。事業者さんにつながるのか、Mobi さんにつながるのかというのを教えていただけたらと思います。

〈事務局〉

システム的にはその何日か前に予約も可能なシステムにはなっているのですが、運転手さんの負担も増えてしまうので今回の実証運行ではリアルタイムの予約だけを考えております。

〈委員〉

予約に関しては、弊社のコールセンターが大阪と兵庫県豊岡市にあり、そちらにつながるようになります。まずはお電話いただいて、早島町の利用ですと言っていただくようになります。

〈委員〉

雨の日などは利用が多くなると想定されますが、需要予測に応じて、1台以上増やすというお考えはありますでしょうか。

〈事務局〉

やってみてとなりますが、あまりにも待ち時間が長くなるようであれば、他の予算を削って、配車に回して2台体制にできればと考えていますが、このあたりはお金の関係と運行事業者さんとの調整になると思います。

〈委員〉

高齢者の方が利用されるケースが多いと思いますので、自治会単位で希望すれば説明会をやってもらえるのでしょうか。

〈事務局〉

現段階では説明会の予定としては考えていませんが、自治会の希望がありましたら、こちらから出向いてご説明はできますので、検討いただけたらと思います。

〈委員〉

デマンドになっても町外へは行けないのでしょうか。町外の中庄方面や倉敷中央病院などの病院に行けるようなかゆいところに手が届くデマンドになってほしいと思っています。

〈事務局〉

実は以前コミュニティバスの中庄路線について検討したことがありまして、倉敷市さんにも相談

してみたのですが、こういった民間路線バスではないような場合は、例えば早島町から倉敷市側に行く場合は倉敷市さんの地域公共交通会議での協議を整える必要があります。倉敷市さんの回答としては難しいということで回答を得ております。おそらくこのデマンド交通でもなかなか難しいものと考えております。理由としては、やはり民業圧迫がありまして、少数かもしれませんが、倉敷市への移動でタクシー事業者さんの利益を公共事業で取ってしまうようになり、難しいということを倉敷市さんの担当から当時言われております。中庄に行くようになれば、早島タクシーさんや澤田交通さんの売り上げも減ってしまうのでそのあたりはなかなか難しいと考えております。

〈会長〉

他にご意見はございませんでしょうか。

それでは次に資料2の停留所について、こういった場所に停留所があればといったご意見等ありましたらお願いいたします。

〈委員〉

コミュニティバスでは特例かもしれませんが、岡山流通会館前にあるバス停を設けていただいています。このデマンドでも使えるようになれば通勤で早島駅から岡山市の企業に勤めている方が利用できますのでぜひお願いしたいと思います。また先ほどお話がありましたように中庄駅は難しいとは言われていたのですが、流通センターの企業としては中庄駅から通勤される方も多いため、そのあたりも難しいと思いますが、可能であればぜひ利用できるようになればありがたいと思います。

〈事務局〉

実証運行では、運行区域は早島町内のみとさせていただきたいと思っております。もし本格運行をすることになりましたら、おそらく再度岡山市さんと倉敷市さんとの協議は必要かとは思っております。ただ、なかなかハードルが高いかと考えておりますが検討をしていきたいと思っております。

〈専門員〉

各バス停には何かペイント的なものや工作物が建つのでしょうか。

〈事務局〉

特に工作物を建てる予定はなく、仮想のバス停で考えております。ただ、考えられるのは今ある既存のコミュニティバスのバス停にデマンドのバス停にもなっていますぐらいの掲示はしてもいい

いかと考えています。

〈委員〉

今回の実証実験において140か所を乗降場所として設定されていますが、もし可能であれば、町内の方の移動手段の利便性を図ることがメインだと思いますが、町外の方も利用可能ということであれば、観光協会の会員となっている場所も設定いただけたらと思います。

〈事務局〉

観光協会さん発行の観光マップを見ながら設定はしたのですが、おそらく観光マップに載っていない店舗さんもあると思うので、もう一度産業課に確認して設定をしてみます。

〈会長〉

他にご意見はございませんでしょうか。

それでは次に24枚目のスライドにあります③運賃について、ご意見等ありましたらお願いいたします。

〈委員〉

ワンタイムプランについてですが、大人のAさんと大人のBさんが利用した場合、それぞれが400円を支払うということでしょうか。それと大人と子どもが利用した場合は、400円と200円で合計600円ということでしょうか。

〈事務局〉

おっしゃるとおりです。

〈委員〉

福祉タクシー助成でチケットを交付していますが、例えば町内のみ利用する高齢者の方にはこのデマンドの方がお得ということもあり、そちらに利用者が流れていくと思います。デマンドに集まりすぎることも考えられるので何か対策があればお願いします。

〈事務局〉

今回の目的はとにかくAIデマンド交通を知っていただきたいということにあります。チラシに1回無料券をつけてPRをして、まずは1度乗っていただくことが大事かと思っておりますので、

特に高齢の方がワンタイムプランでデマンドに多く乗っていただいてもいいと思っています。これでデマンドがいいということで定額乗り放題プランを利用してくださる高齢者の方もいればなおいいと考えています。それと、先ほどお伝えし忘れたのですが、高齢者の福祉タクシーチケットをお配りしていますが、こちらのチケット1枚をワンタイムプランで利用できるようにして利用促進につなげたいと考えています。

〈委員〉

大部分の方が片道ではなく往復で利用されると思いますが、例えば往復割引などは考えていますでしょうか。

〈事務局〉

実証運行の段階ではそういった往復割引等の導入予定はありません。今回、運賃はシンプルなたちにしたいと考えています。

〈専門員〉

運賃の支払い方法について教えてください。ワンタイムプランは都度現金払いというイメージでしょうか。それとも定額乗り放題やアプリ内決済、クレジットカードでの決済も可能でしょうか。

〈事務局〉

ワンタイムプランについては、現金で支払ってもいいですし、各タクシーの設備で、例えばコード決済やクレジットカード決済が可能であれば、システム的にはそちらも利用可能となっています。クレジットカードを携帯アプリ上で登録すれば、そのアプリ上での決済も可能になっています。月額制もアプリでの利用となっております。アプリで登録があれば例えば大阪で利用されている方が早島に来て同じように1回400円でアプリを使ってそのまま利用できるものとなっております。

〈会長〉

それでは次に25枚目のスライドにあります④PRについて、ご意見等ありましたらお願いいたします。

〈専門員〉

観光目的の方は町外からご利用になる方もいますが、ご説明いただいたものが主に町民の方向け

のPRだと思います。町外の方へのPRについてご検討されているものがあつたら教えてください。

〈事務局〉

言われるようにPRをいろいろと考えているのですが、町外の方へのPRは周辺の方角の山陽新聞さんや公式ホームページ、SNS ぐらいとなっていて、そこが弱点だと思っています。ただMobiのアプリで他の地域で登録されている方に対して、早島町でこんな実証実験をやっていますといったPRができるようなことを聞いているので、可能であればこういったPRもできればと考えています。このあたりはCommunity Mobilityさんと相談しながら進めていきます。

〈専門員〉

観光協会の会員さんのサイトにリンクしていただくなどのPR方法もあると思いますので、よろしくをお願いします。

〈委員〉

AIではないのですが、倉敷でも乗合をやっていて、自治会と事業者、行政が契約して行うものですが、自治会さんの努力は必要となっています。やはり、事業者だけでなく利用者の方も努力をしていただかなければ事業は続きません。道路事情による待ち時間などの制約もあるかもしれないので、乗られる方の努力も必要だと思います。事業者の努力だけでは絶対に上手くいきませんので、年配の方などの町民が利用しやすいように全町民に周知徹底をしていくのがいいと思います。

〈事務局〉

実証運行を踏まえて、より良いものにしていくことが大事かと考えています。利便性が上がったと感じていただくためにも利用者側の目線が大事ですので、そこに向けての努力は必要と考えています。

〈委員〉

コミュニティバスが将来的になくなるということが伝われば、このPRも関心を持たれると思います。バスもデマンドも両方運行するとなれば、「あれがあるからいいわ」というような感じになってしまうと思います。将来的にバスはなくなります、といったコメントをPRに入れたら関心をもっと高まると思います。

〈事務局〉

ダイレクトにそれを情報発信するのは難しいと思います。ただコミュニティバスが抱える課題は、皆さんに知っていただく必要がありますので、そういったことも踏まえて説明会等も行っていきたいと考えています。

〈会長〉

それでは最後に AI デマンド交通の実証運行全般について、ご意見等ありましたらお願いいたします。

～意見等はなし～

それでは、AI デマンド交通の実証運行について、各委員に採決をお願いいたします。

ご異議ございませんでしょうか。

〈各委員〉

異議なし。

〈会長〉

ご異議が無いようですので、提案のあった「AI デマンド交通の実証運行について」は、当会議で協議が調ったことといたします。

〈会長〉

続きまして、議題（２）「共創の取り組みについて」事務局から説明をお願いいたします。

〈事務局〉

失礼いたします。それでは、「共創の取り組みについて」ご説明いたします。お手元の資料 1 をご覧ください。

～事務局より説明～

〈会長〉

ありがとうございました。

それでは、事務局の説明に対し、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

～意見等はなし～

〈会長〉

それでは、「共創の取り組みについて」、各委員に採決をお願いいたします。

ご異議ございませんでしょうか。

〈各委員〉

異議なし。

〈会長〉

ご異議が無いようですので、提案のあった「共創の取り組みについて」は、当会議で協議が調ったことといたします。

〈会長〉

続きまして、次第6その他になります。会議を通じての意見・質問や早島町コミュニティバスなどについて、意見等がありますでしょうか。

～意見等はなし～

〈会長〉

意見等はないようですので事務局にお返しします。

〈事務局〉

長時間にわたりご議論いただきまして本当にありがとうございます。本日いただきましたご意見につきましては、今後の公共交通やAI デマンド交通の検討に活かしていきたいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上